

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 第7回地域移行・地域生活支援部会			
(2) 開催日時	平成28年11月17日（木） 10：00～12：00			
(3) 開催場所	大田区役所 HK-203 会議室			
(4) 出席した委員、事務局	委員（部会長：青山 明子）			
	白井 絵里子	志村 陽子	鶴田 雅英	福田 功志
	岡本 洋	齋藤 信子	林 達彦	山根 聖子
	山田 悠平	伊藤 朋春	岡田 あい子	井岡 幸子
	山田 紗梨	藤牧 裕佳子	川島 浩子	
	区職員：金子 江理子（健康医療政策課）			
	関係者：平林 直樹（障がい者総合サポートセンター居住支援部門主任）			
区事務局：井村 陽介、岩下 祐輔、（障害福祉課）、 江波戸 宏、星 美保、齋藤 愛理（障がい者総合サポートセンター）				
(5) 内容・要旨	<p>1 報告・連絡事項</p> <p>(1) 司会の確認：鶴田委員</p> <p>(2) 出欠席の確認</p> <p>(3) 第2回本会（10/24）の実施報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部会でのこれまでの取り組みを発表し、課題を共有した。 活発に意見が出て、傍聴者からもたくさんのご意見を頂いた。 第3回本会は部会の最終報告を行う。 <p>(4) 自立支援協議会だよりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会を広く知ってもらうためのもの。各部会の様子を伝える。 <p>(5) 第2回全体討議会（12/5）の開催について</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 勉強会について</p> <ul style="list-style-type: none"> 次回の部会の中で行う。一般の方などそれぞれの団体の参加も呼び掛けを行っていく。 <p>（講師の方に聞きたいこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> 意思決定支援について聞きたい。 医療的ケアの方を受け入れる訪問介護ステーションや病院、事業所がない場合にどうするか。また、事業所のつくり方なども聞きたい。 ALS とはどのようなものなのかについても丁寧に説明してほしい。 <p>(2) おおた障がい施策推進プランについて</p> <ul style="list-style-type: none"> おおた障がい施策推進プランの検証・評価は、大田区障がい者施策推進会議で行うことになっている。 自立支援協議会を代表して白井会長が出席している。 協議会の意見は、12/9 までに各部会の意見を集約し、白井会長を通し 			

て提出する。

(意見)

【P 1 事業 1】

- ・ネットワークの有機的な結合の部分で具体的にどのようにしていくのか。
- ・地域移行・地域定着支援は何をもって強化というのかは難しいが、具体的にどのようなかたちで進めていくのか。
- ・さぼーとぴあの相談については、より専門性をもったものにしてほしい。

【P 15 事業 26】

- ・「富山型デイサービス」のように、高齢者や障がい者へのサービスが共生・併設するようなかたちも検討していった方がいいのではないかと。
- ・今後はケアマネージャーと相談支援専門員が兼任していくことも考えられる。地域包括支援センターとの連携も考えていった方がいい。

【P 15 事業 27】

- ・身体障がいや知的障がいのある方の地域生活のコーディネートをどのように進めていくのか。

【P 23 事業 42】

- ・障がいのある方にとっては防災訓練に参加しづらい状況がある（そこに入っていいのかわからないなど）。
- ・災害対策基本法の改正により「要配慮」へ統一されているため、文言の統一を図った方がいいのではないかと。
- ・ヘルプカードの普及。一般の方にもさらに周知して欲しい。

【P 24 事業 45】

- ・重度の身体障がいだとトイレが小さくて入りきれないなどの問題がある。「札幌式トイレ」のように横たわってできるようなものを導入した方がいいのではないかと。

【P 33 重度障害者等包括支援】

- ・要件が高く、事業者が参入しづらいサービスである。市区町村レベルでは難しいので、国レベルでサービスのあり方について検討する必要がある。

【P 40～41 相談支援】

- ・研修をしても量は増えていかない。どうやって事業所を増やしていくのか。
- ・モニタリングは原則家に行って行うようにされているが、数が多い月とそうではない月の差が極端で非常に厳しい。また、知的障がいに関しては、施設に併設されていて、支援員と兼務している場合も多く難しい。
- ・計画相談導入時の弊害がでてきている状況がある。今後の相談支援事業所のあり方について考えていく必要がある。